

会長メッセージ



「ありがとうの心」と「武士の精神」—
変わらないALSOKの精神を、
「社徳」の確立と優秀な「人財」で
これからも体現し続けていきます。

村井 温

代表取締役会長
最高経営責任者（CEO）

ALSOKグループの新たな役割

ALSOKグループを取り巻く市場環境は、景気の緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費の伸び悩みや設備投資の足踏みが窺われ、一部に弱さもみられる展開となっています。一方、治安という面では、刑法犯認知件数は減少傾向を維持しているものの、子どもや高齢者を狙った犯罪や国際テロ事件などがメディアを騒がせることも多く、体感治安の改善を感じられない状況です。

こうしたなかで、社会の安全安心を支える警備サービスへのニーズは引き続き高まっており、今や新築ビルやオフィススペースなどにおいて社会構造の一つとして組み入れられるまでになっています。また、少子高齢化に伴う人手不足を背景に、金融機関のATM管理業務や公共部門のインフラ・設備の監視など、警備会社へのアウトソースニーズも多様化しています。さらには、高齢者や子どもの見守りなど、一人ひとりの生活を守るためのセキュリティニーズも増加し、ALSOKグループ全国3万人のネットワークを活かしたさまざまなサービスの提供が求められていると認識しています。

2016年3月期、ALSOKグループは、「お客様が抱えるさまざまなリスクやアウトソースニーズに的確に応える」との方針のもと、引き続きセキュリティ事業の強化・拡大を推進し、加えて介護事業やビルメンテナンス事業などセキュリティ事業と親和性の高い事業の拡大にも注力しました。また、警備運用部門における人材の多機能化による業務の効率化などを推進し、コスト削減に取り組み、その結果、当期は6期連続となる増収増益となりました。

ALSOKグループが目指す姿と経営理念

当社はおかげさまで、2015年、創立50周年を迎えました。当社の経営理念である「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって誠実に社業を遂行し続け、社会の安全安心の確保のために尽くしてきたことがお客様の信頼につながったものと受けとめています。

次の50年に向けてさらに前進するために、創業時から社業の中核として着実に実績を積み上げてきたセキュリティ事業のより一層の拡大と進化を図りつつ、シナジー効果の見込める介護事業や総合管理・防災事業など、支柱となる新事業・新サービスへの取り組みを推進するとともに、日本経済の動向を見据えつつ、海外におけるビジネスも積極的に拡大していきます。これまで海外に進出する日系企業のセキュリティ対策を支援してきましたが、今後は日本と海外で培ったノウハウを基に、現地企業などに向けた高品質な日本式のセキュリティサービスを提供していきます。

日本では、今後さらに少子高齢化が進み、人材不足や市場の縮小といった社会問題の深刻化が懸念されています。そのような状況下においても、ALSOKグループは、AIやIoT、ロボットなどの新技術を活用した犯罪の未然防止や予兆探知などの新たなセキュリティスタイルの提供や省力化による最適な人員配置などの効率的なマネジメントを実現し、さらなる警備品質の向上を図ります。

このような活動を通して、ALSOKグループは、10年を目処にグループ売上規模を1兆円にするという目標を掲げていますが、これは、企業として継続的に発展していくための目標であり、単に業容や利益を拡大できれば良いという考えではありません。50年たっても「安全安心を支える社会インフラの一翼を担う」という基本的なスタンスは変わりません。今後も、普遍的経営理念をもって社徳を積み続けながら、より一層の企業価値向上に取り組んでいきます。

ALSOKグループの「人財」の強み

会社が継続的に発展するためには、社員が仕事にやりがいを感じ、活躍し続けることが必要です。そのためには、経営者の経営に対する考え方や姿勢が正しいことはもちろんのこと、会社の社風が公明正大で風通しが良く、社徳のある会社でなければなりません。その上で、さらに社員一人ひとりが研さん・努力を積み重ねることで、会社も大きく発展し、真の一流企業となっていくものだと考えています。

ALSOKグループは、現在、日本全国に3万人の社員を有し24時間365日対応できる体制を整えていますが、経営理念を実現し続ける高い能力を備えた誠実な社員こそがALSOKの「人財」であり「強み」です。

セキュリティ事業に関わる者は、専門的な知識や高い技術の習得は当然のことながら、人の生命、身体および財産を守ることに価値を認め、業務を規律正しく遂行し、お客様から信頼されなければなりません。そのために当社では、新入社員向け研修だけでなく、職位別にも多くの研修を行っていますが、いずれの研修においても「経営理念」「経営指針」「行動規範」など創業以来の基本的な精神の理解・浸透を図り、その精神があらゆる業務遂行の場面において実践されるように研修体系を構築しています。また、社内報や経営層からのメッセージを配信する社内メールマガジンなどでも折に触れて、その重要性を説くなど、社員一人ひとりが「人徳」を積み、企業としての「社徳」が確立されるように日々努めています。実際、こうした取り組みによって醸成された当社の社風は、極めて誠実かつ律儀なものとなっており、当社が世に誇れる「強み」だと考えています。

また、新規事業・海外事業・M&Aなどの戦略的な事業から営業・運用の第一線までの多岐にわたる事業領域において、中核となり活躍できる人材の育成のため、採用、入社後の研修体系、キャリア開発にわたって、長期的かつきめ細かな育成とフォローアップを推進しています。ALSOKは2015年10月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナーとなりましたが、語学力や文化的知識だけでなく、マナー面においてもグローバルなマーケットを視野に入れた人材の育成に努めていきます。

さらに、ALSOKグループに求められる役割が拡大するにつれ、女性社員が活躍できるフィールドの幅も広がっています。

今後も、優秀な「人財」がそれぞれの個性や能力を存分に発揮して活躍できるような環境を整え、将来にわたって安全安心を支える社会基盤の一翼を担い続けることで「日本の安全の確保に寄与する」というALSOKの創業の精神を体現し続けられるよう邁進していきます。

※ ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー（セキュリティサービス＆プランニング）です。